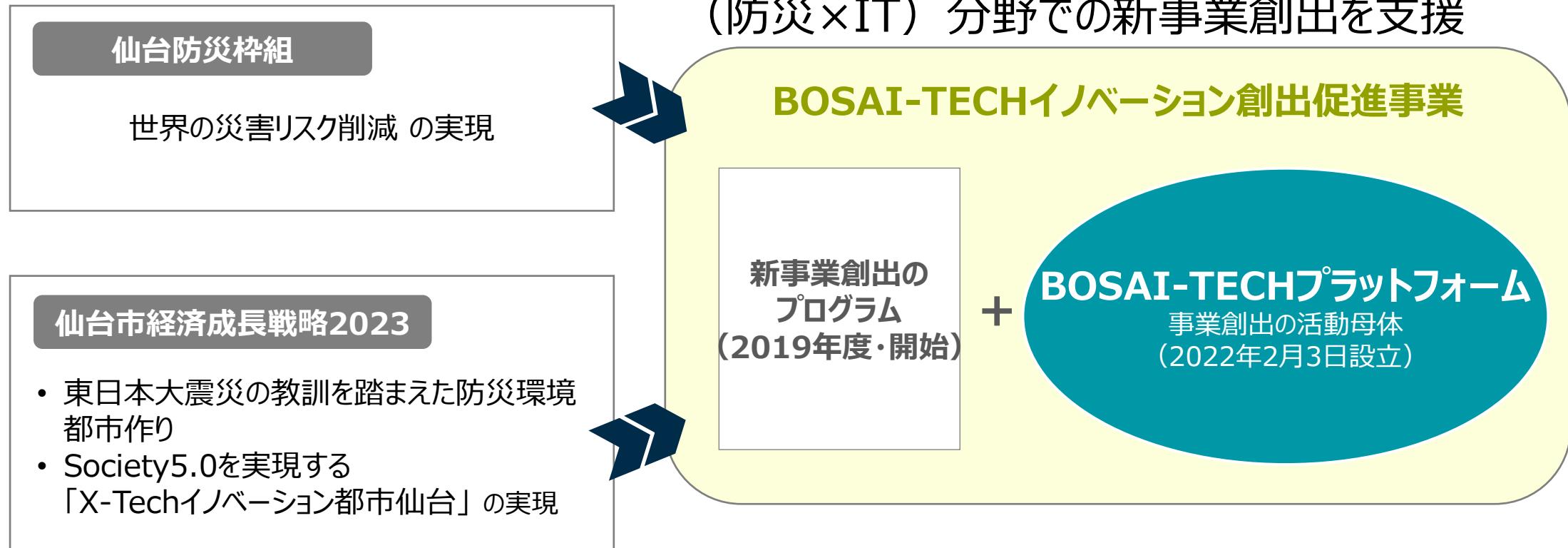


新潟県の防災産業の取組 ～防災関連産業の集積を目指して～

2024/2/9 (金)

仙台市BOSAI-TECHイノベーション創出促進事業



仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォーム

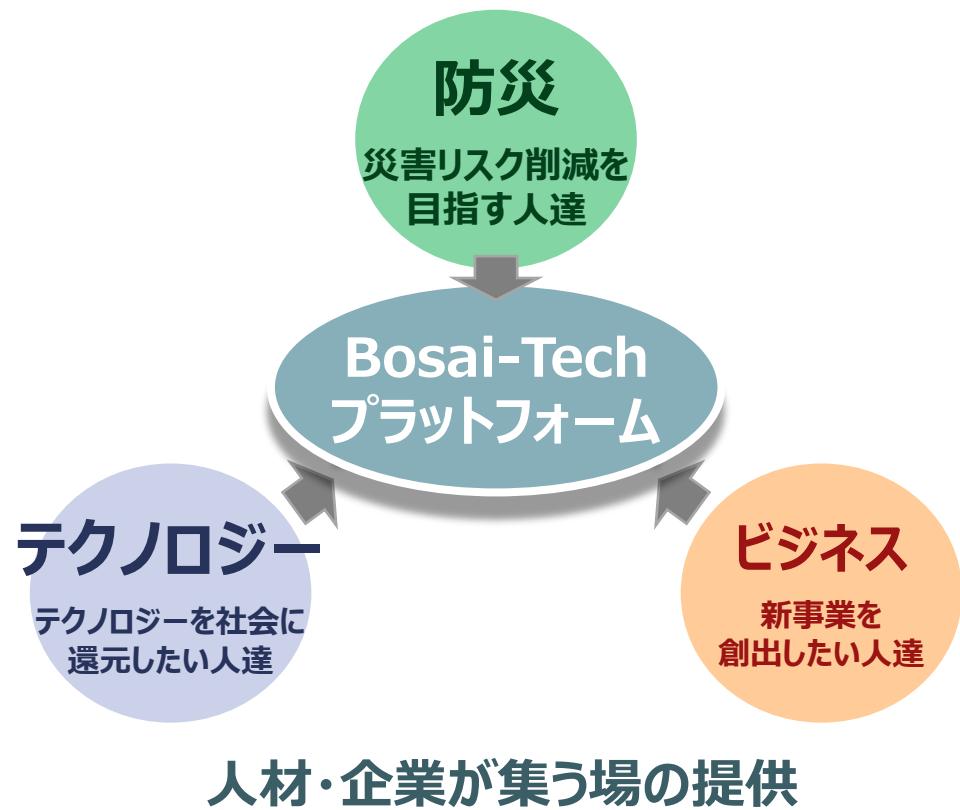


■ プラットフォームの目指す姿

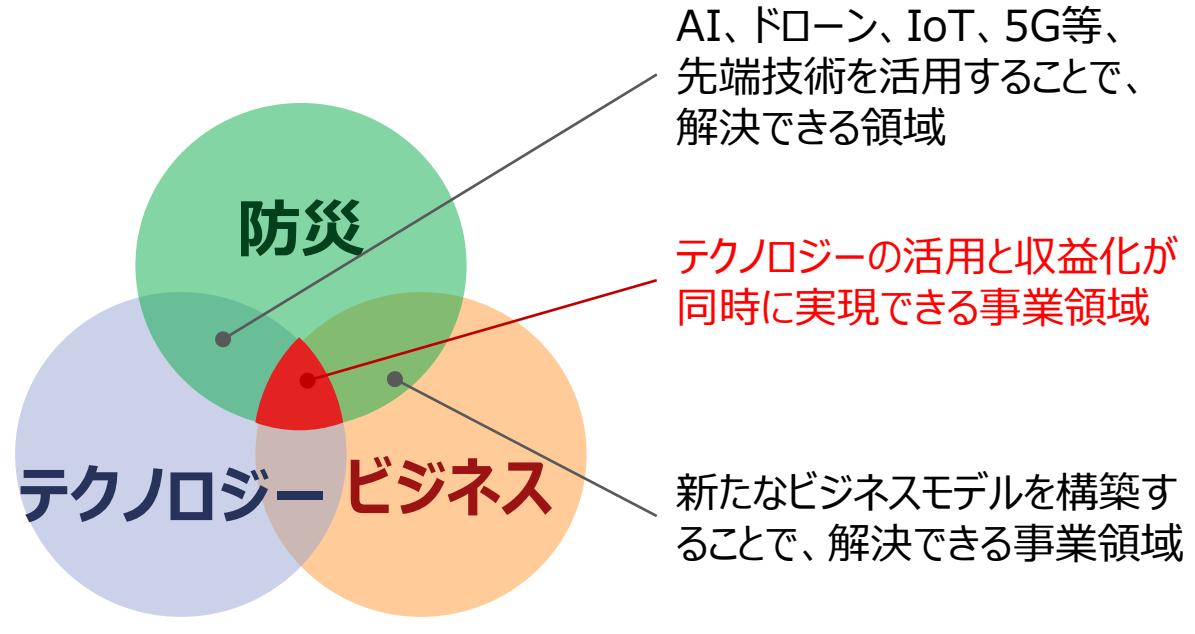
『仙台防災枠組』の実現を目指し、
【防災】×【テクノロジー】×【ビジネス】を融合した
新たな解決策を生み出す場となり、
その解決策を仙台、日本全国、世界へと展開する

2022年2月3日にプラットフォームを設立
(2024年2月2日時点で206の団体が参画)

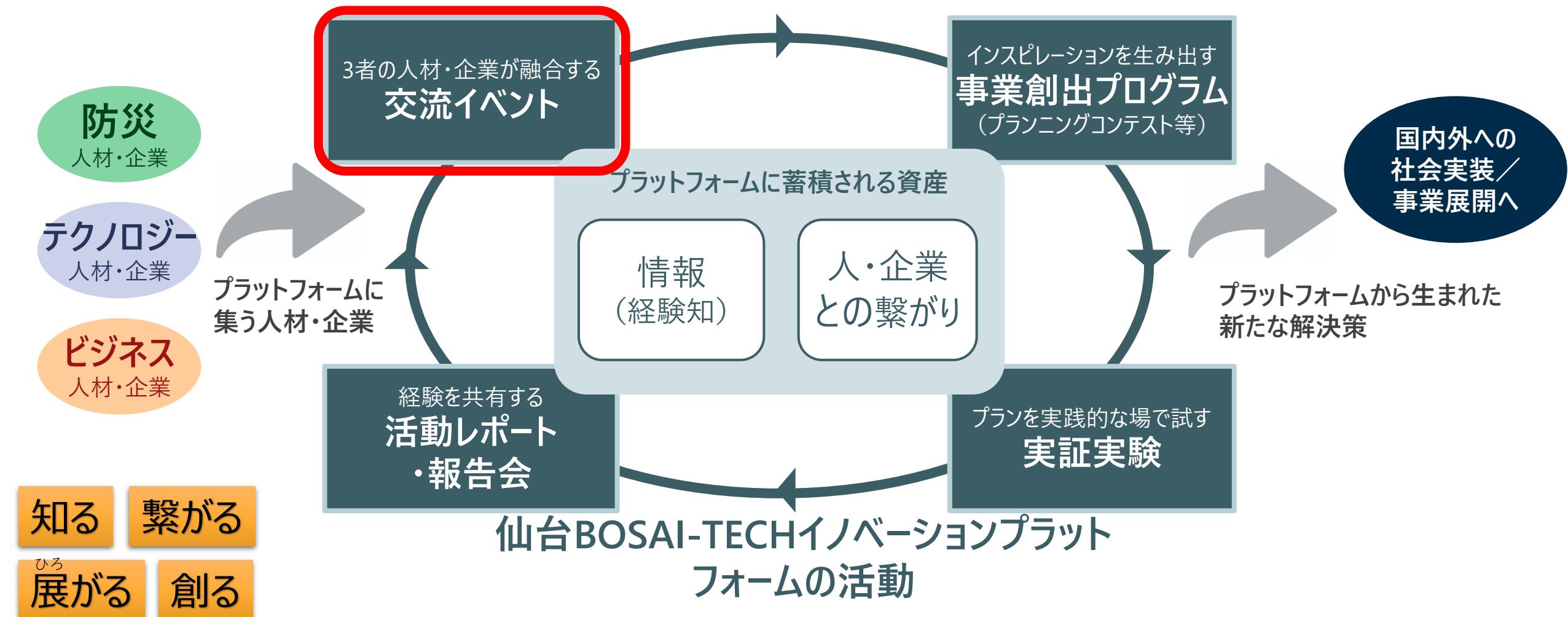
プラットフォームのコンセプト



■ プラットフォームで創出する解決策の領域

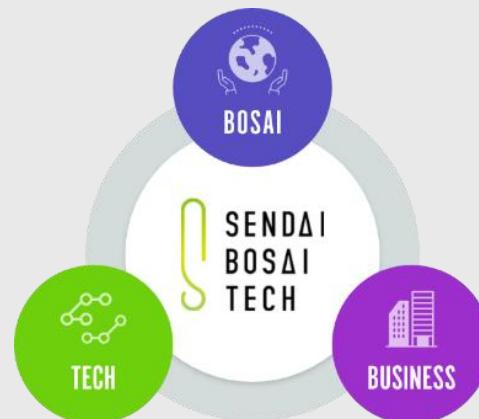


プラットフォームの活動内容



新潟県と仙台市の連携

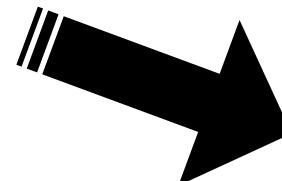
防災×テクノロジー×ビジネスを
融合した防災課題に対する新たな
解決策を持続的に生み出す場



防災に関する“資源”が集まり
イノベーションを生む“防災”的
な総合基地



情報発信等による
相互連携



参画する事業者同士が連携することにより、
新たなビジネス創出を目指す！

新潟を防災産業の拠点に！

『新潟県の防災産業の取組』

～防災関連産業の集積を目指して～

新潟県 × 仙台BOSAI-TECH共催セミナー
2024年2月9日



[説明者]
産業労働部 産業政策課
産業政策グループ 石橋 大我

本日のポイント

- ・「にいがた防災ステーション」の取組
- ・新潟県の取組①「災害と食」
- ・新潟県の取組②「災害とアウトドア」
- ・皆様へのお願い

本日のポイント

- ・「にいがた防災ステーション」の取組
- ・新潟県の取組①「災害と食」
- ・新潟県の取組②「災害とアウトドア」
- ・皆様へのお願い

新潟を防災産業の拠点に！

中越大震災 (H16. 10. 23)



出所：新潟県ホームページ

新潟を防災産業の拠点に！

中越大震災 (H16. 10. 23)



出所：新潟県ホームページ

新潟を防災産業の拠点に！

中越沖地震 (H19. 7. 16)



出所：新潟県ホームページ

新潟を防災産業の拠点に！

中越沖地震 (H19. 7. 16)



出所：新潟県ホームページ

新潟を防災産業の拠点に！

H17年～ 企業の商品開発や販路開拓を支援



現状・課題

- 度重なる災害経験により、**防災・減災に関するノウハウ**や知見、商品開発技術などの**豊富な資源が蓄積**
- 各企業や大学での**『ものづくり』『研究・技術開発』**であり、**県全体としての魅力発信**ができない

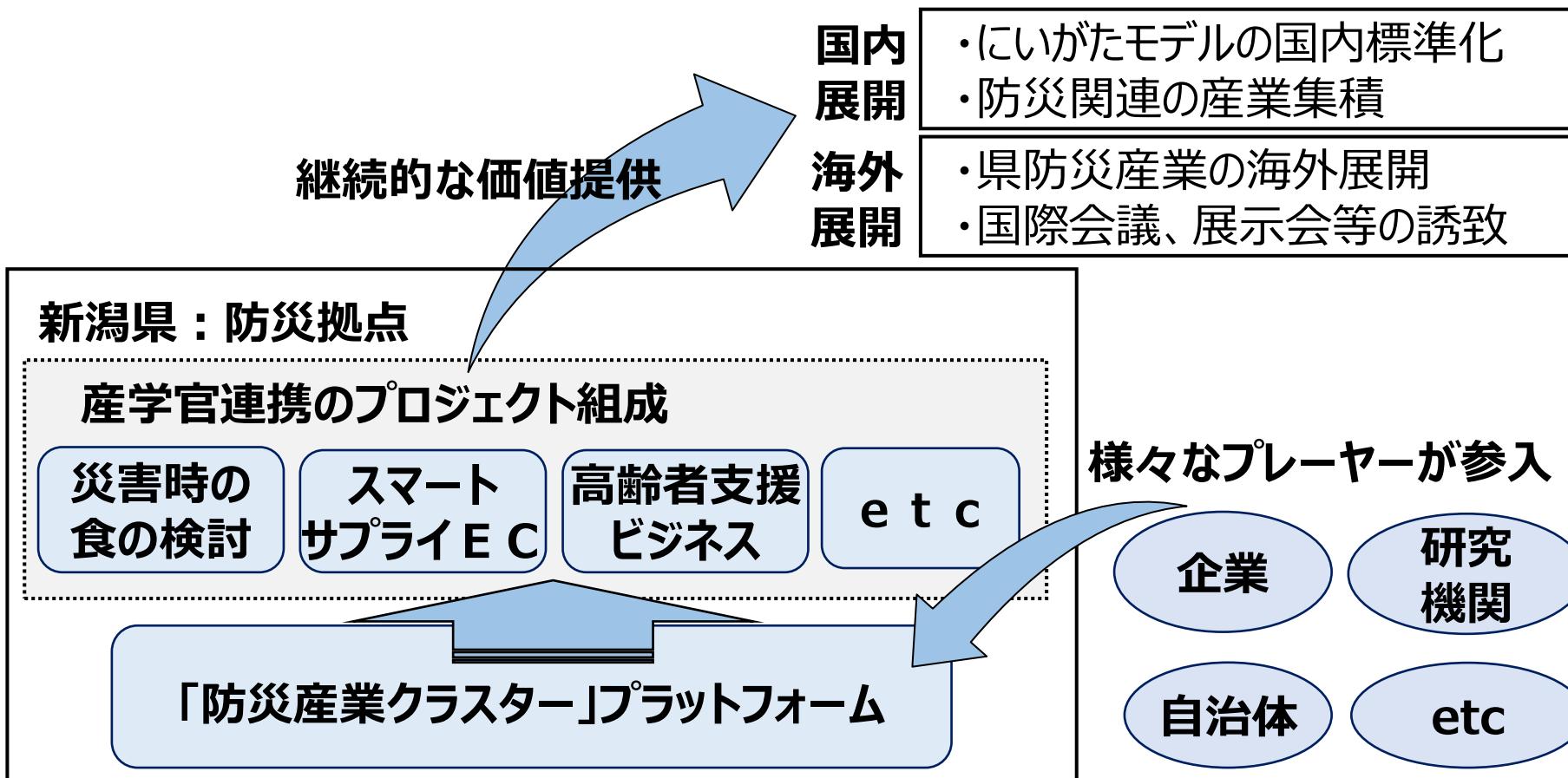


事業の方向性

- 防災産業のクラスター形成に取組拡大(R2年度～)
- プラットフォームを中心に、**新たなビジネス創出**や**関連産業の集積**、防災の**拠点として情報発信**

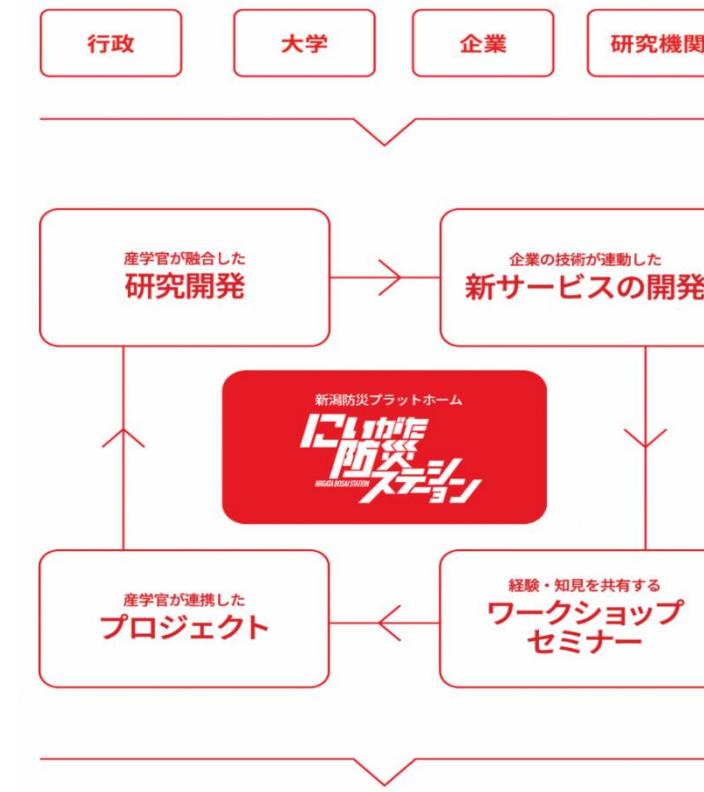
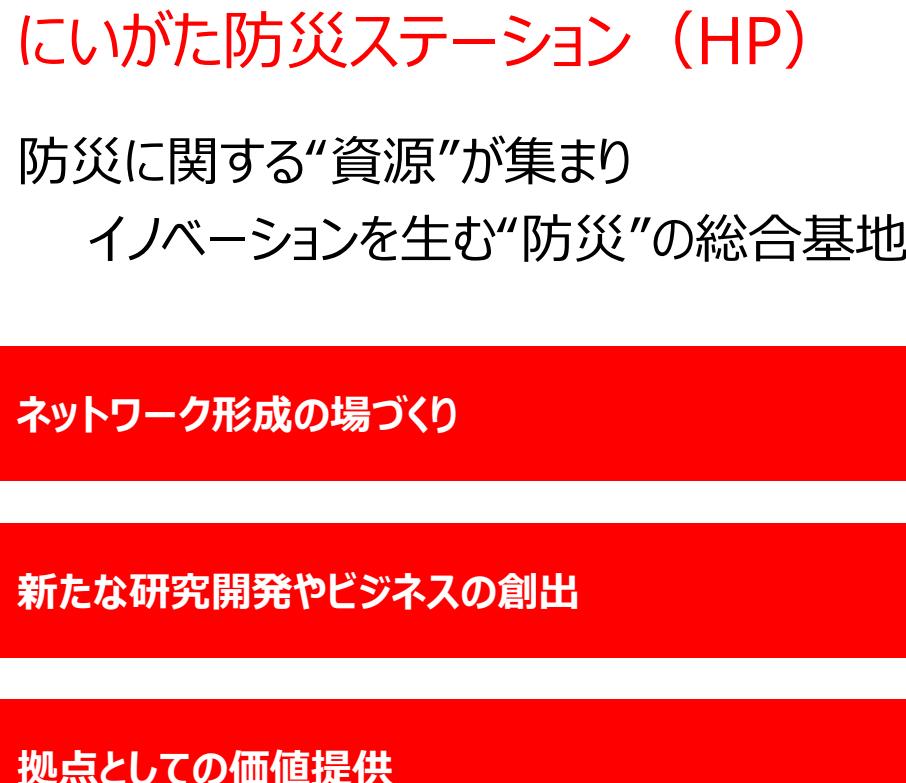
新潟を防災産業の拠点に！

- 産学官が連携し、新たなプロジェクト、ビジネスを創出
→防災関連産業の集積(クラスターを形成)
- 県内だけでなく様々なプレーヤーが新潟県に集まり、新たなビジネス等が次々と創出→新潟県が防災産業の拠点として、防災分野をリード



新潟を防災産業の拠点に！

- R3年度に新たなビジネスや研究開発を促進するオンラインプラットフォーム「にいがた防災ステーション(HP)」を設置
- 現在、県内外の138の自治体や団体、企業等が参画



“新潟モデル”的確立と、新しい価値の発信

新潟を防災産業の拠点に！

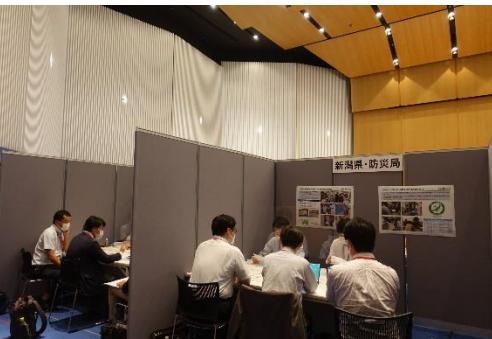
マッチングイベント

内閣府やにいがた産業創造機構（NICO）と連携し、交流会やマッチングイベントを開催

防テクPF・第4回マッチングセミナー



事業説明会・企業交流会



イベント連携

県内企業と連携し、防災関連イベントを開催

- イベント参加者が防災を学ぶとともに、県内防災関連商品を認知する機会
- 企業は商品PRを行うとともに、商品改良のヒントを得る機会

防災教育

「企業とつくる災害への備え」



レスキュー・デイズ - 防災エクスペー



新潟を防災産業の拠点に！

展示会出展

県全体としての防災産業を発信するため、各種展示会に出展

○県の防災に関する商品を面的に訴求

○県外から企業や新たな知識・技術・産業の流入を促す

危機管理産業展



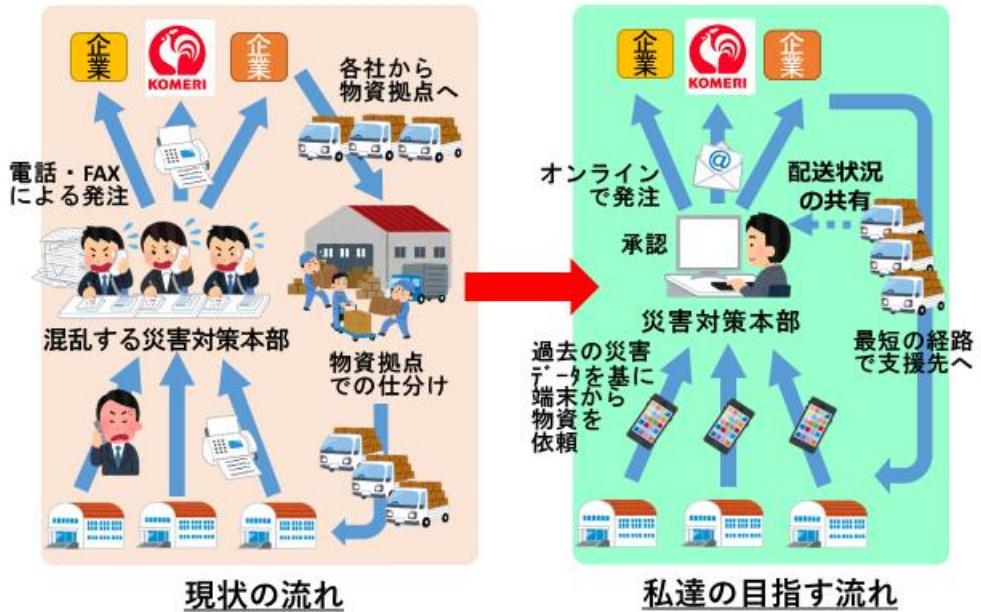
震災対策技術展



プロジェクト例

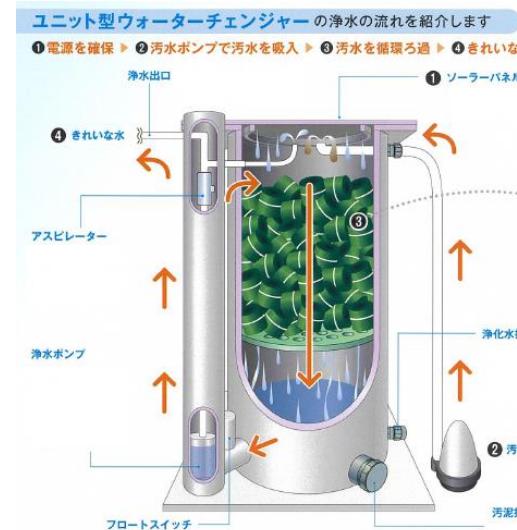
➤ プロジェクト組成により、実証や商品化によりビジネス開始

災害物資発注の効率化 スマートサプライ EC



- 災害物資の発注を効率化するシステム開発
- 過去の知見・データにより、災害未経験者でも支援物資の要請ができるECサイト

ウォーターチェンジャー® 長岡技術科学大学の研究を商品化



- バイオキャッチャー®による循環・ろ過・浄化装置
- 大学の研究シーズを商品化・販路開拓するため、企業マッチングやプロモーションを展開

新潟を防災産業の拠点に！

プラットフォーム参画メンバー（一例）

業種	県内	県外
行政	上越市、刈羽村、出雲崎町、魚沼市、津南町、加茂市、柏崎市、関川村、湯沢町、燕市	内閣府(防災担当)、関東経済産業局、仙台市
研究・教育	長岡技術科学大学、防災科学技術研究所雪氷防災研究センター	JAXA、NPO法人ボランタリー・アーキテクツ・ネットワーク
卸売・小売	アクシアルリテイリング株、株日産サティオ新潟西、OUTDOOR LIFE STORE WEST (パール金属株)	株良品計画、船山株、星野総合商事株
情報通信	NTT東日本、株TeNYサービス、株リプロネクスト	JR東日本メディア株、株JX通信社、DXアンテナ株
製造	パール金属株(キャプテンスタッフ株)、オンヨネ株、株武田金型製作所、森井紙器工業株	川崎重工業株、岩谷マテリアル株
	株ブルボン、株栗山米菓、ホリカフーズ株、株ヒカリ食品、まつや株、(有)エコ・ライス新潟	
建設	株レンタルのニッケン、株近藤組、株建設技術研究所、ユニトライク株、水沢電機株	
運輸		佐川急便株
その他	(公財)にいがた産業創造機構、(一社)健康ビジネス協議会、(公財)燕三条地場産業振興センター	東急株、東武トップアーズ株、日本防災プラットフォーム

主なプロジェクト

プロジェクト名	概要
災害食ISO	要配慮者用の災害食等を含む「おもいやり災害食システム認証制度」を構築
スマートサプライEC	過去の災害知見データを活かし、災害未経験者でもオンラインショッピングのように支援要請できる災害支援物資ECサイトを開発
スノーコイン	既設の降雪センサーを利用したリアルタイム降雪分布システム、除雪車の最適ルート検索システムなどの開発及び社会実装を実施
長岡防災クラスター べんりんがーな長岡	企業が連携し、いざ災害があった時にも、高齢者の方々が悩みを一人で抱え込まないような仕組みを構築
新たな食の備え	食糧備蓄等の取組を県内外に広める。県内小売店で「食糧備蓄」に関するコーナーを作り、取組を広げていく
災害時の物流構築	自治体と民間企業との物流に関する標準的な協定パッケージ(にいがたパッケージ)の構築を目指す
車中泊に関する検討	県防災局が災害時の車中泊に関するマニュアルを策定するのに合わせ(R5.1)、企業側でも車中泊に関する商品開発やプロジェクトが組めないか検討
防災イベントに関する検討	県内の防災イベントの可能性やイベント間の連携を検討会を実施
いつものもしもCaravan	新潟県(直江津)の無印良品の防災キャンプ「いつものもしもCaravan」を新潟モデルとして実施
にいがた 「アウトドア×防災」プロジェクト	アウトドアは防災と直結することから、『アウトドア×防災』を産業として、新潟から全国・海外に展開・発信

様々な業種の会員・様々なプロジェクト

新潟を防災産業の拠点に！

- ・「日用品は防災用品」へ、「防災用品は日用品」へ
- ・様々な業種が防災に取り組める！



本日のポイント

- ・「にいがた防災ステーション」の取組
- ・新潟県の取組①「災害と食」
- ・新潟県の取組②「災害とアウトドア」
- ・皆様へのお願い

事例：ローリングストック普及キャンペーン

○ローリングストックとは … 普段の食品を少し多めに買い置きしておき、賞味期限を考えて古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つ方法

○経緯

・R4年度に企業や行政が参加する「新たな災害食の備え方検討会」を開催

【検討会での意見】

- ①災害時に行政や企業にできることには限界があることから、自助による備えを強化が必要
- ②官民が連携して、普段から消費しながら災害に備えるローリングストックの大切さを県民にアピールが必要

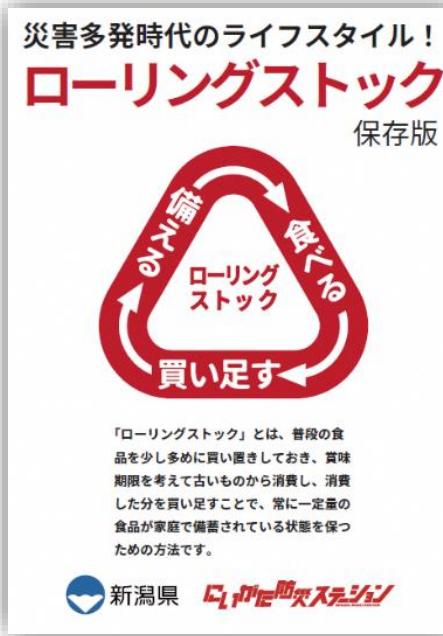
官民連携で県民に向けたローリングストック普及キャンペーンを実施

新潟を防災産業の拠点に！

事例：ローリングストック普及キャンペーン

●概要

- ・東日本大震災の日（3月11日）を起点とし、県と企業が連携してローリングストック普及キャンペーンを実施。
- ・3月11日前後一週間程度の期間に、県内のスーパー・コンビニ等で啓発POPの設置やチラシでの啓発、SNS等での発信を実施
- ・県で学校等でのチラシの配布や新聞を活用した広告を実施



R4年度参加企業
アクシアルリテイリング株式会社 (原信ナルス)
イオントリーレル株式会社 (イオン・イオンスタイル)
株式会社スポット (ピアレマート、良食生活館、ウオエイ)
新潟県生活協同組合連合会
株式会社良品計画
株式会社セブン-イレブン・ジャパン
株式会社ローソン
株式会社ファミリーマート

日用品の販売促進+家庭備蓄と防災意識の向上

「災害と食」の課題

①ローリングストックの普及

- ・新潟県では官民連携のローリングストック普及に向けた取組を進めているが、ローリングストック普及は課題
⇒連携先の拡大や「官民連携のにいがたモデル」として他県展開を進めたい

②災害時の食の多様化への対応

- ・企業や施設から備蓄品がまとめたパッケージがほしいとの声がある
⇒防災ステーションでパッケージが作れると良いが…
⇒企業や施設によって必要な食は異なり、それぞれに合わせた選定が必要
⇒乳幼児や高齢者、慢性疾患患者に対応した備蓄
⇒アレルギー食や流動食、低たんぱくご飯など

仙台BOSAI-TECHでの「災害と食」に関連した取組①



PARTNER
パートナー企業・団体

パートナー企業

NOKIA THE AJINOMOTO FOUNDATION 東北電力グループ COOP TOHOKU NEC

SUPPORTER
協力・協賛

東北大学災害科学国際研究所

IRIDeS EARTH on EDGE HAKOTO CAPITAL

■BOSAI-TECHイノベーション創出プログラムとは

国内大手企業と地域企業の協業による新たな防災関連事業の創出を支援するプログラム

■2020年9月～2021年3月

■パートナー企業 5社

■エントリー地域IT企業 7社

■実施内容

- ・防災と事業開発の学び
- ・新事業の企画演習（事業プラン策定/ワークショップ/メンタリング）
- ・最終発表会（パートナー企業へのプレゼン/マッチング機会の提供）
- ・次年度以降の支援

パートナー企業

ノキアソリューションズ＆ネットワークス

味の素ファンデーション

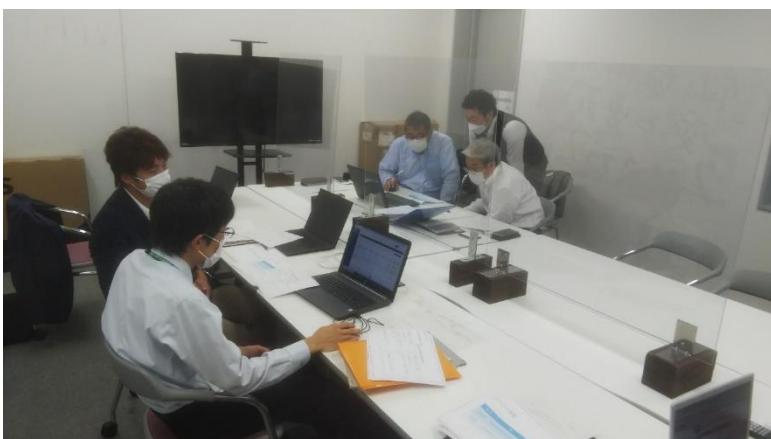
東北電力グループ

COOP東北

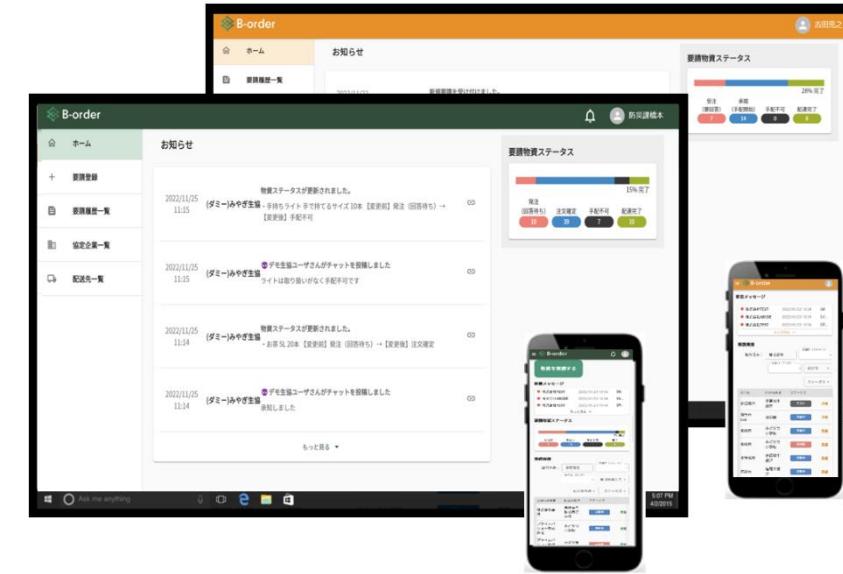
NEC

- ・3社が「災害と食」に関連するテーマでソリューション開発
- ・実用化、社会実装へと繋がったソリューションも

仙台BOSAI-TECHでの「災害と食」に関連した取組②



災害時物資受発注システム「B-order」



実証実験を複数回実施
(COOP東北×プライムバリュー×仙台市)

2022年5月 ベータ版リリース



2022年10月 正式版リリース

本日のポイント

- ・「にいがた防災ステーション」の取組
- ・新潟県の取組①「災害と食」
- ・新潟県の取組②「災害とアウトドア」
- ・皆様へのお願い

事例：にいがた「アウトドア×防災」プロジェクト

【アウトドア】

- ・インフラが遮断された自然の中で非日常の体験を楽しむレジャー
⇒インフラが遮断された環境は、災害時の環境と共通項がある
⇒自然の中で使用するアウトドアグッズは、防災グッズにもなる
　日常：アウトドアグッズとして活用 ⇔ 被災時：防災グッズとして活用
　EX：アウトドアグッズ用の寝袋を避難所で使用

○車中泊

- ・近年では車中泊キャンプという楽しむ方も
⇒熊本地震では車中泊での避難が多かった
　普段は非日常として車中泊を楽しむことグッズを揃えることが防災グッズを揃えることに繋がる。



日常からアウトドアを楽しむ・経験することが、防災力の向上にもつながる

新潟を防災産業の拠点に！

事例：にいがた「アウトドア×防災」プロジェクト

【概要】

- ・燕三条地域は、40社を超えるアウトドアメーカーが集積
- ・関連商品の開発拡大やネットワーク形成、防災との連携等を目的に産学官連携の新潟モデルとして「新潟県アウトドア協会」を設立（R5.8）
- ・インフラが遮断された災害時の避難生活はキャンプそのもので、アウトドアは 防災と直結することから『アウトドア×防災』を産業として、新潟から全国・海外に展開・発信
- ・「新潟県最大級」外遊び博覧会「新潟・燕三条OUTDOOR EXPO2023」開催（R5.9）

「新潟・燕三条OUTDOOR EXPO2023」



出所：新潟県ホームページ

「アウトドア」の普及に向けた課題

①地域課題解決に向けたアウトドアの活用

- ・アウトドアの普及は、賑わいの創出や子どもの体験機会の創出につながるしかし、アウトドアと行政の連携は限定的

②地域事業者との連携

- ・キャンプ場では、地元食材の販売や観光情報の発信等により、地域と連携した地域活性化につながる。
- ・アウトドアの普及に向けて、キャンプ場と地域事業者のつながりを形成し、連携した取組を産み出すことが必要。

③アクティビティを担う人材育成

- ・キャンプ場には設備はあるが、アウトドア楽しむためのアクティビティがなく、ビジネスに育っていない。
- ・アクティビティの提供には、企画力や実行力が必要で人材育成が課題。

仙台BOSAI-TECHでの「災害とアウトドア」に関連した取組①

地域BWAを活用したAIカメラ、効率的な避難所運営支援（アンデックス株式会社）

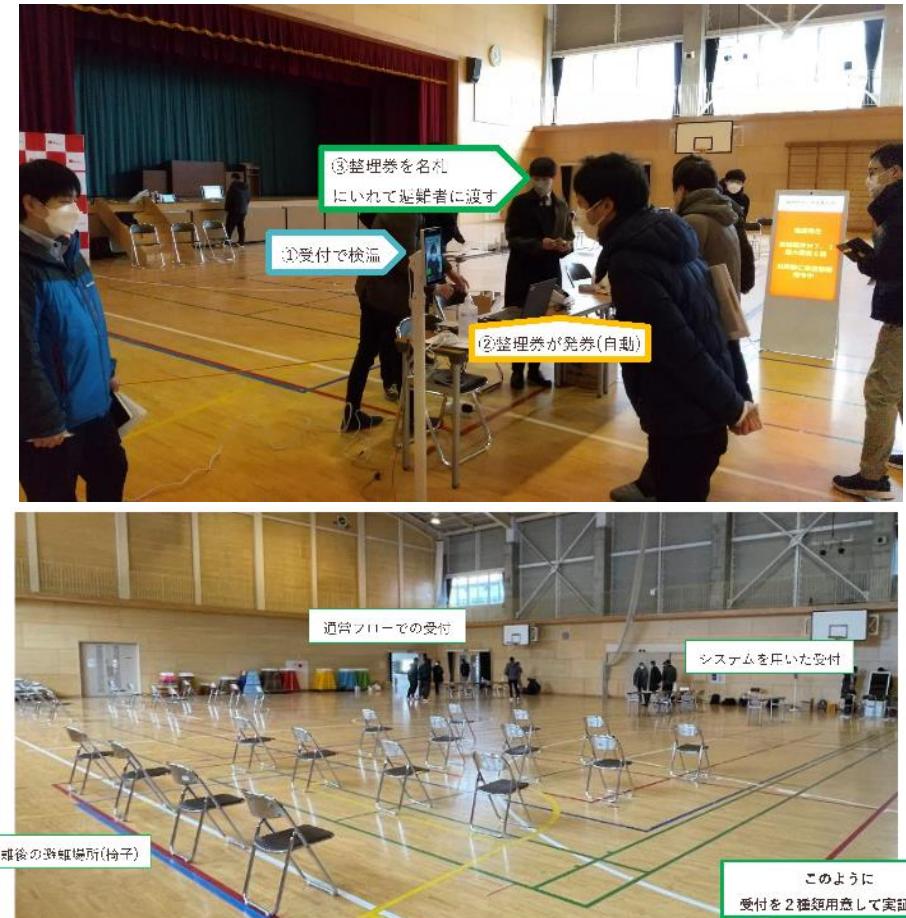
- ・避難者をAIカメラで画像解析し、性別、年代、人数等を災害対策本部等へ報告。
- ・地域BWAを活用した避難所Wi-Fiを設置し、災害対策本部等への連絡手段に活用。
- ・環境センサーを設置し、温度、湿度、CO2など避難所環境の状況を把握。



仙台BOSAI-TECHでの「災害とアウトドア」に関連した取組②

デジタルを用いた受付の実証（株式会社フォルテ）

- ・事前登録不要な受付システムの実証実験。
- ・入口で検温した方にQRコード付き整理券を配布し、受付で手書きでの避難者カード記入を不要とすることで効率的な避難所運営を図る。



新潟を防災産業の拠点に！

終わりに

防災に関する企業や事業を増やすために…

防災用品をどのようにすれば日常で使えるか？
日用品をどのようにすれば災害時に使えるか？

を考える。

本日のポイント

- ・「にいがた防災ステーション」の取組
- ・新潟県の取組①「災害と食」
- ・新潟県の取組②「災害とアウトドア」
- ・皆様へのお願い

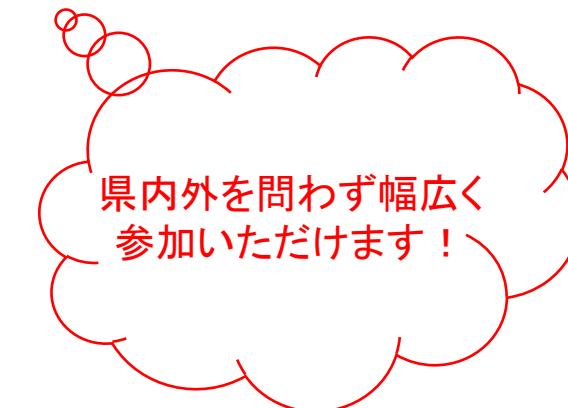
「にいがた防災ステーション」のご案内

URL

NIIGATABOUSAI.JP



新たなビジネス
創出しませんか？



県内外を問わず幅広く
参加いただけます！